

# 京都市左京区総合庁舎整備等事業 建築レポート



左京区  
シンボルマーク

皆様、こんにちは、10月度の作業は、B1～3階の仕上工事を  
行い屋上では屋根葺き工事を開始しました。B1～2階では間  
仕切り壁や天井のボード貼り、電気器具の取り付けを行い、  
3階では鉄骨天井下地、先行設備配管、配線工事、サッシの  
取付け工事などを行いました。

11月度も引き続きB1～3階の仕上工事及び外壁の仕上工事を  
進めていく為、資材の搬入車輛が多く出入りします。

ご迷惑をお掛けしますが、細心の注意を払い安全最優先で工  
事を進めて参りますので、皆さまのご理解、ご協力よろしくお  
願いいたします。

今月は、左京区総合庁舎の避雷針の統合接地システムについ  
てお知らせいたします。

## 避雷針とは

避雷針とは、建物や、その中にいる人を守る  
ためのものです。高い建物の一番上に建っ  
てる槍のような物です。  
落雷が起こった際には雷を受け止めて、安全  
に地面に流します。

## 統合接地システム



地中梁に導線を  
張り巡らせて  
アースを取っ  
ています。



## 完成予想パース



## 従来システム

従来のシステムでは、避雷針に落ちた雷を  
導線もしくは、建物の一部の柱を使って、  
地面に逃がしています。その場合、一部の  
電気設備・情報通信機器の接地（アース）  
と干渉して影響が出る場合がある。

## 全 景

屋上では屋根工事が始まりました。



統合接地システムとは目的の異なる接地（アース）を一つの  
共用システムとして考えるもので、大きな目的としては、落  
雷時・地絡事故時にビル内の全てのものを等電位（鳥が電線  
にとまっても感電しない現象）にすることで感電および各機  
器の損傷を防ごうとするものです。これにより落雷時でも電  
気設備・情報通信機器が安定して使用することが出来ます。

